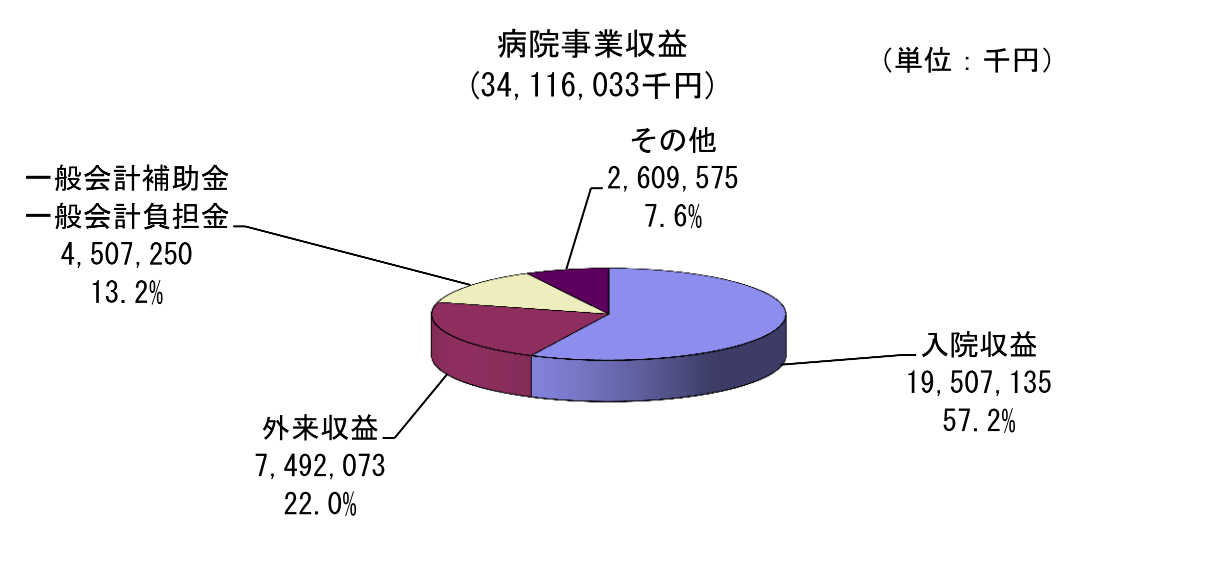
名古屋市病院局　平成27年度予算の概要

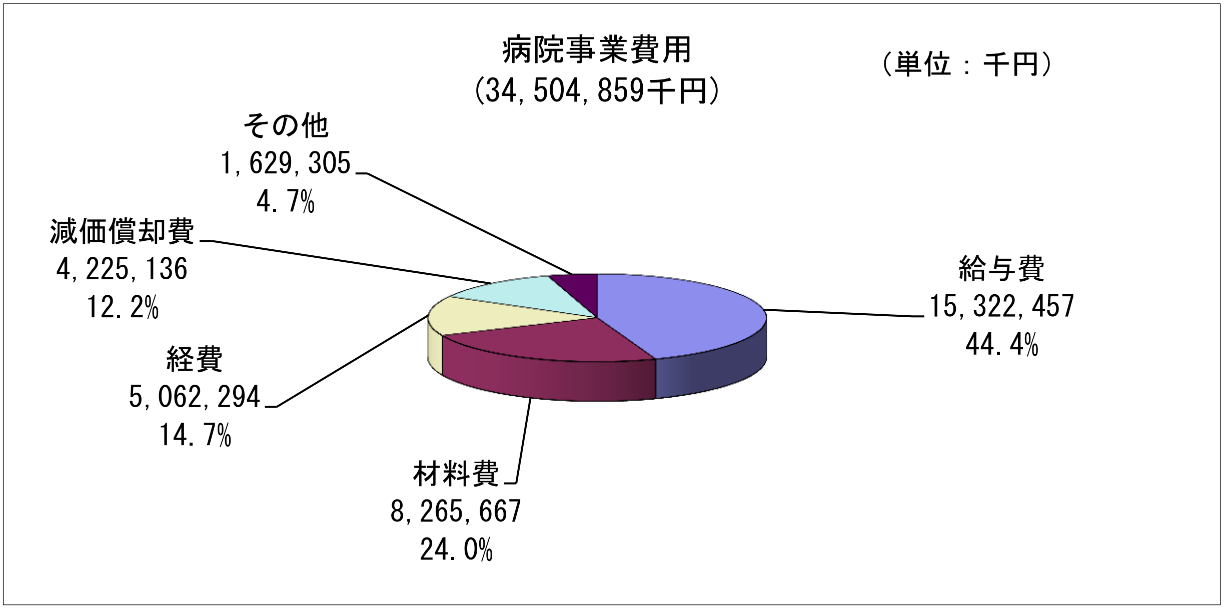
平成27年度の病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を341億1,603万円余、総事業費用を345億485万円余と見込んでおり、3億8,882万円余の赤字となっております。経営状況については改善傾向にあるものの、依然として赤字であり市立病院を取り巻く状況は厳しいものがありますが、自立した経営を目指し、平成26年 3月に策定した「名古屋市立病院改革推進プラン」に基づき、限られた医療資源を効率的に活用して医療水準を高めてまいります。

平成27年度の重要事項としては、東部医療センターにおいて、医療機能の更なる充実を図るため、病棟の改築に向けた設計及び旧棟（救急診療棟・外来棟）の取り壊し工事等を行います。また、西部医療センターの名古屋陽子線治療センターにおいて、患者数の増加に伴い実施体制を強化するなど、からだにやさしく、都市型の立地を活かした通院治療も可能な陽子線照射による最先端のがん治療を提供します。

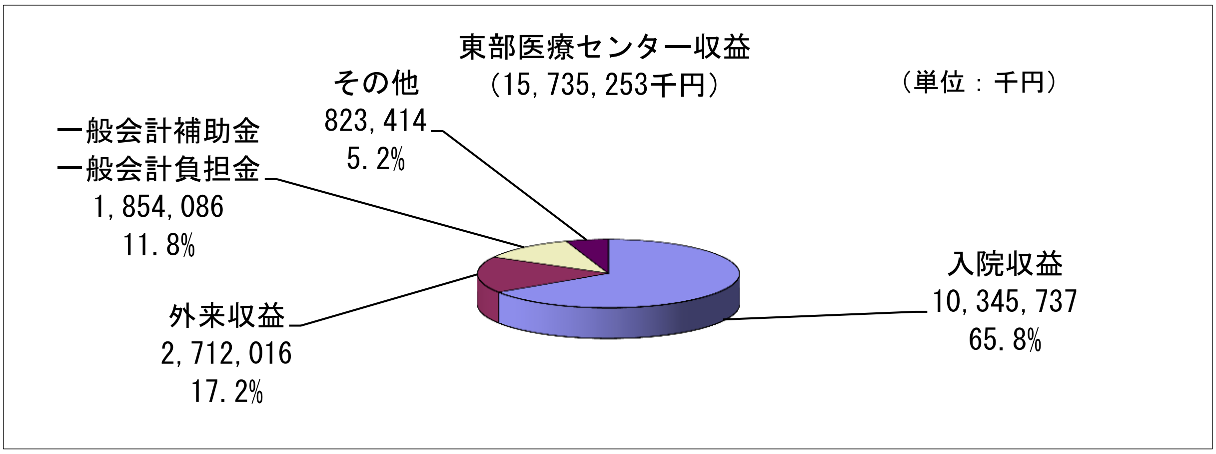
平成27年度の主な建設改良事業としては、東部医療センターにおいて病院情報システムの更新を前年度に引き続き行います。その他に、西部医療センターでは強度変調陽子線治療システムを平成28年度にかけて導入し、緑市民病院では施設改修工事を行います。

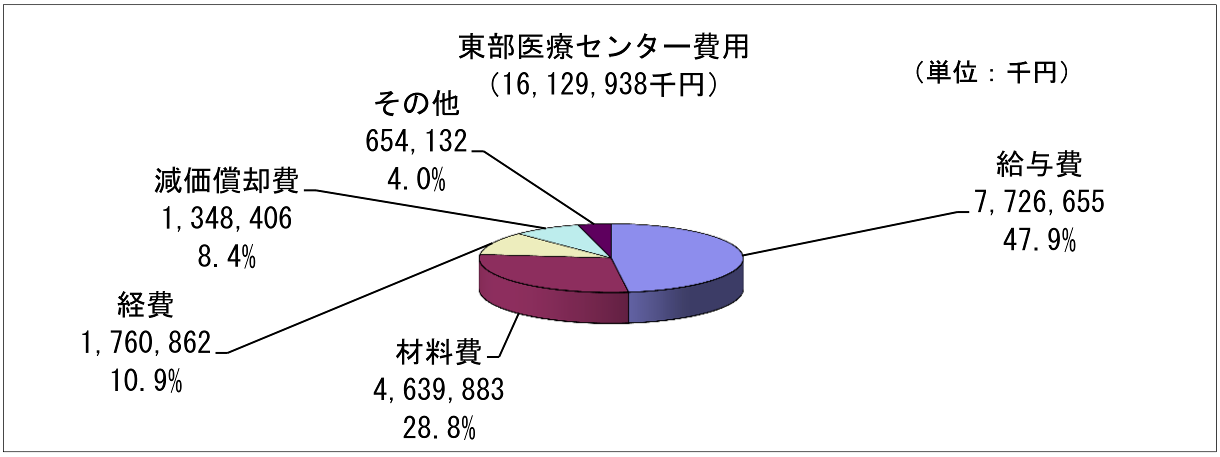
病院事業会計の収支



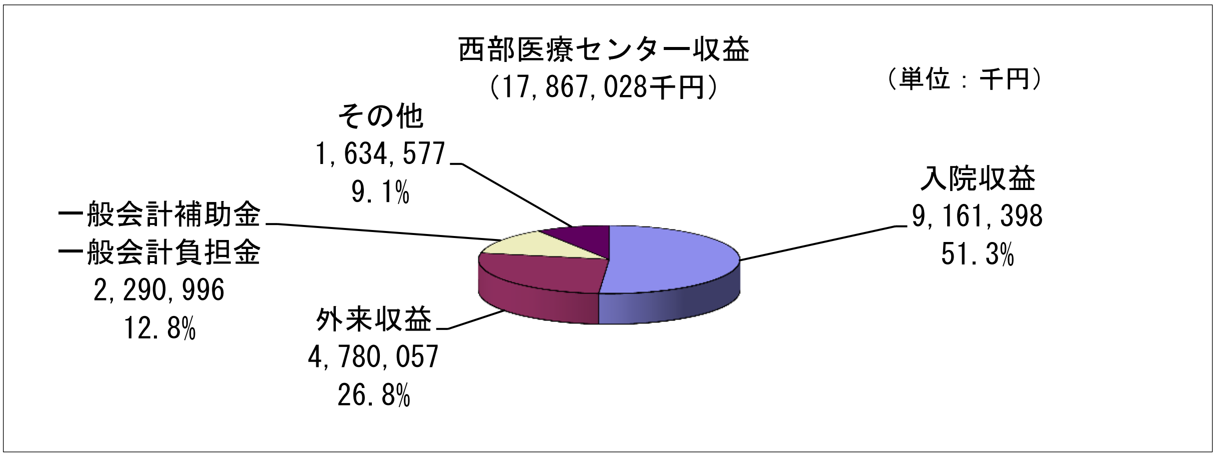


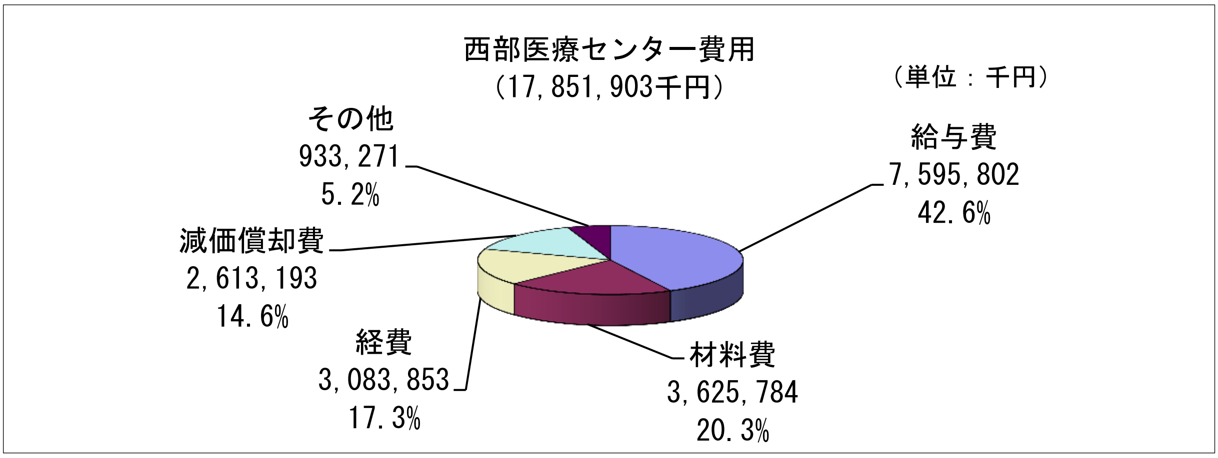
東部医療センター



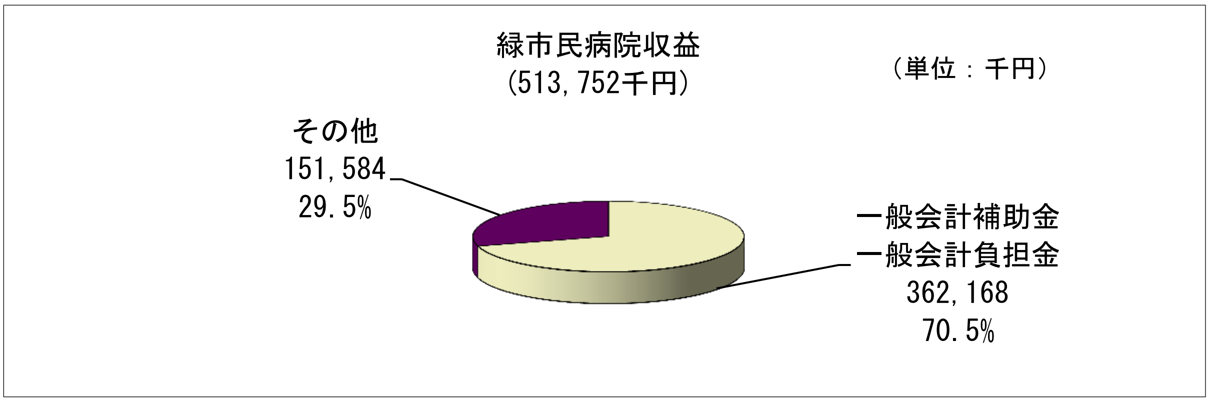


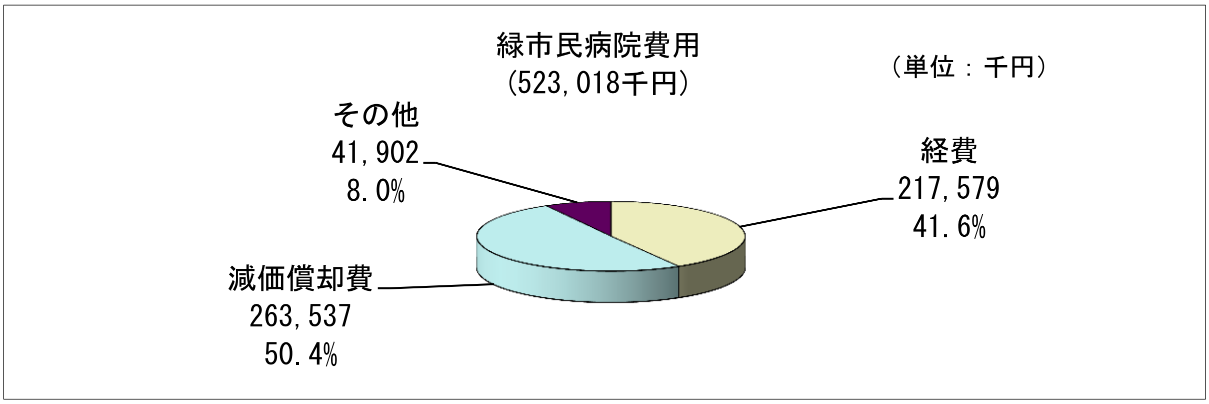
西部医療センター





緑市民病院


緑市民病院収益
(513,752千円)
(単位：千円)
その他
151,584
29.5%
一般会計補助金
一般会計負担金
362,168
70.5%


緑市民病院費用
(523,018千円)
(単位：千円)
その他
41,902
8.0%
経費
217,579
41.6%
減価償却費
263,537
50.4%